

規約などの英訳について

松 本 誠 一

最近、国際シンポジウム、Selected Meteorological Papers の刊行など、学会の事業を契機として、諸外国の間で日本気象学会の活動が注目されるようになり、外国人で日本気象学会員になりたいという希望者が増加していることは大変喜ばしいことである。これに伴って、外国との関係について学会の定款その他を整備する必要が起つてきた。手始めとして、先般の理事会で、学会の組織、役員、会員などの必要事項について英訳の暫定的な案がまとまったことは既報の通りである（天気1月号理事会便り）。そこで外国の気象学会の組織などと対比しながら解説を加え、会員諸氏の参考に供したいと思う。

ここで参考にしたのは英国の Royal Meteorological Society と米国の American Meteorological Society であるが、何れも立派な定款と細則を持つており、これをそれぞれ constitution (米), charter (英) および by-laws (米、英) と称している。学会の運営は各国とも内容において大差はない。これを項目別に紹介すれば、

1. 会 員

米国: Professional Members, Corporation Members, Student Members, Associate Members, Honorary Members.

英国: Honorary Membership, Fellowship, Foreign Membership, Student.

日本: 通常会員 (A, B), 団体会員, 賛助会員, 名誉会員

と区分されている。このうち選挙権を有するものは、米国では前3者、英国では、Fellowship、日本では通常会員となつている。外国人の会員は日・米では区別されていないが、英国では区別され選挙権を持たないことになつている。

2. 役 員

米国: elective officers—President (名), Vice-President (1), Secretary (1), Treasure(1), Councilors (15) —毎年5名ずつ改選
以上が選挙でえられ、前 President 2名を加えて、計21名で Council を構成する。

英国: officers—President (1), Vice-Presidents (4), Honorary Treasurer (1), Honorary Secretaries (2), Editor.
Ordinary members of Council (12)
以上で Council を構成する。

日本: 常任理事 (13), 地方理事 (4~9) が選挙でえられ、理事会を構成。常任理事の中か

ら理事長が互選され、庶務、会計、編集などを担当する理事がきめられる。

以上のように役員組織は外国の例と非常に異つているが、これは気象学会が法人組織となつていて文部省の管カツ下にあるために取つている形態である。このよな意味で字義通りの直訳をさがせば、理事は director, 理事会は board of director, 理事長は the chairman of a board of directors ということになる。しかしこのような表現は、外国では営利会社で用いられているので気象学会の実状にはびつたりとしない。

外国の例では、理事長、庶務、会計担当理事などに相当する役員は直接選挙でえられており、形式的にも法律的にも日本の場合とかなり相異があるけれども、実質的な学会事業の運営には大差がないので、英訳するに当っては仕事の内容に重点をおいて、既報のとおり、

理事会 (council), 理事長 (president), 理事 (councilor), 庶務担当理事 (secretary), 会計担当理事 (treasurer), 編集担当理事 (editor),

という表現をすることに決定したわけである。

3. そ の 他

入会規則などに必要な事項については、次のような英訳を採用することにした。

入会金 (admission fee), 会費 (annual dues), 会員原簿 (admission form of the membership), 会員申込書 (application form), 入会紹介者 (sponsor) 'スポンサー' という言葉は、現在では映画テレビなどの広告主という意味で日本語化されているけれども、元来の意味は person who makes himself responsible for another (C.O.D. による) となつている。

なお、参考のために、学会の機関誌が今年から変更になるものがあるので、次にかかげておくことにする。

米国: Journal of the Atmospheric Science.
Journal of Applied Meteorology.
Bulletin of the American Meteorological Society (official organ).
Weather-wise. その他

英国: Quarterly Journal of the Royal Meteorological Society.
Weather.

日本: 気象集誌 (Journal of the Meteorological Society of Japan).
天気 (The Tenki).